

# 「3Dパイプ&ビーム切断機」を発売

## リッカーマン 円形鋼管の3次元開先加工を実現

機械などの総合商社、リッカーマン(日本)(本社・東京千代田区丸の内3-4-1 ☎03:3271:0161)は、3次元切断が可能なHGG社(オランダ)製「3Dパイプ&ビーム切断機」の本格営業を開始した。小径から大径鋼管まで高精度切断が可能で、大型建築物や鋼構造物、橋梁向けに販売する。

同社が扱うHGG製3次元切断機「SPC」は全13機種をシリーズ化し、鋼管径25mm(板厚2・8mm)から最大210mm(同100mm)までの鋼管の高速・高精度3次元ガス切断が行える。オプション装備によりさらに高精度なプラズマ切断も実現する。独自開発のトーチ交換システムにより、ガス切断からプラズマ切断への自動切り替えが約5分で済むため、鋼管サイズや鋼種など目的に応じたロスのない切断加工が可能だ。

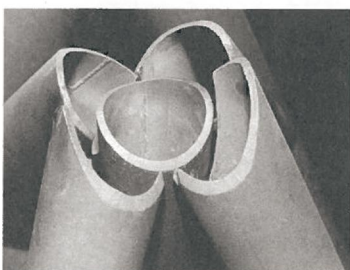
鋼管は、ガス切断が±70度以下、プラズマ切断は±45度まで開先加工が行える。加工精度は長さ方向±1・5mm、位置決め精度±0・5mm、繰返し精度±0・25mm、ベベル角±2度と精度が高い。φ50mm、板厚12mm、長さ6mの鋼管を加工した場合、ガス、プラズマ切断ともに毎分60秒



3Dパイプ&ビーム切断機



「鳥の巣」の3次元鉄骨加工にも採用



複雑な開先加工も高精度で実現

「3Dパイプ&ビーム切断機」は、中国・北京のスタジアム「鳥の巣」の鋼管切断・3次元開先加工に採用されるなど、鋼構造分野で着実に実績を伸ばしている。

の高速切断を実現。円形鋼管のほか角形鋼管、球形部材など適用範囲が広く、複雑な開先形状も難なく加工する。

HGG製3次元切断機は、CADによる設計データを活用できるのも特徴。HGGとTEKLAは、設計データを加工データとして活用し、モデリングとパイプ状の鉄鋼構造物を製造するためのソフトウェアソリューションを開発。リッカーマンはTEKLAの日本人、テクラ(本社・東京)が販売する3次元構造系CAD「Tekla Structures」の連動による加工効率の良さもアピールする。